

## モスケイラ氏がオーストラリア政府主席科学官 科学戦略・リエゾンオフィス 事務局長に就任

このたび、JIFASアドバイザーのアントニオ・モスケイラ氏から、就任の挨拶が参りましたので下記紹介します。

小生の新規業務が極めて興味深くかつ注目を浴びる分野であります。小生の役割は「Chief Scientist」に対する支援の提供と科学分野の連絡業務を担当する、所謂、文楽にける「黒子」に該当すると言っても過言ではありません。業務繁忙の大半は「Chief Scientist」の活動に関するものであります。しかしながら、小生はこの新規役職が新しい機会に進展するものと期待しております。

私の公式業務はオーストラリア政府に対して独立した助言を提供することであり、これを達成する為に、「Chief Scientist」は以下を含む、幾つかの異なる帽子を被ることになります：

- ・ 専門家研究の監督役 (Commissioner)
- ・ 国内的革新に関する促進役 (Facilitator)
- ・ 国の最も重要な科学的課題の先導役 (Bellwether)
- ・ 政府内、部門間、および、一般住民に対する伝達役 (Communicator)
- ・ 意志決定に基づく確証の代言人 (Advocate)
- ・ 世界的舞台における豪州科学の大使 (Ambassador)

高知大学における提案プロジェクト(複合循環式陸上養殖)の進展に関するJIFASからの情報を得て極めて喜んでおります。当地のアワビ養殖業者に対して、アワビと共に海藻を養殖する事業に興味があるかどうかの関心度を計測するための書信を出すつもりであります。

JIFAS関係者の皆様によろしく伝えてください。

